

鼠径ヘルニアの治療を受けられる患者さんへ

月/日	/		/		/	/
経過	入院・手術前日		手術日（術前）	手術日（術後）	手術後1日目	術後2日目（退院）
達成目標	- 患者および家族が手術の必要性を理解でき、受け入れることができる。 - 心身共に安定した状態で手術が受けられる。		- 麻酔・循環状態が安定している - 合併症・創部腫脹（血腫など）を認めない - 安楽に過ごすことができる - 対処可能な痛みである - 体温が38度以下である	- 合併症・創部腫脹（血腫など）を認めない - 安楽に過ごすことができる - 対処可能な痛みである - 離床がスムーズに行える - 体温が37.5度以下である	- 退院後生活の注意点について理解出来る - 痛みが強くなく、活動に制限がない	
治療	- 看護師より手術の流れについて説明します - 臍の処置を行います - 下肢静脈血栓症、脳や肺閉塞栓症予防の弾性ストッキングの計測を行います 21時下剤と安定剤を服薬します		- 点滴をします - 手術開始時に感染管理の観点から抗菌薬を投与します - 弾性ストッキングを履きます - 義歯、指輪、コンタクト、湿布、ヘアピンなど外して下さい。 - 麻酔科の指示のもと内服薬がある場合はお薬をお持ちします。	- 点滴は手術翌日まで行ないます - 抗生剤の点滴があります	- 点滴終了です - 朝から痛み止めと胃薬の内服薬を開始します - 歩行出来たら弾性ストッキングを脱ぎます	必要時は退院前に栄養説明を行ないます。都合の良い日をスタッフへお伝えください。
処置						
薬剤	麻酔科医、手術室看護師の訪問があります					
検査	- 手術に必要な検査があります - 身長、体重測定を行ないます			術中レントゲン撮影を行ないます	朝採血を行ないます	
活動	院内行動は自由です			手術直後はベット上安静です	院内行動は自由です	
食事	- 夕食まで食事が出来ます 21時以降絶食です		- 絶食です - 飲水： まで可能です	- 手術3時間後より飲水可能です - 手術が午前中の場合、夕食より食事が出来ます（午後の場合は翌日からとなります）	朝から食事が開始となります	
清潔	入浴できます		手術前に体を拭いて、手術着に着替えます		看護師が体を拭くタオルをお持ちします	医師の許可が出た場合はシャワー浴が出来ます
排泄	トイレ歩行出来ます			術後5時間よりトイレ歩行が可能です		
説明	病棟と手術のオリエンテーションを行ないます		- 手術室へ入る前に、床頭台の鍵は看護師へお預けください。 - 手術に対して疑問、不安がございましたらスタッフへお尋ねください。		薬剤師よりお薬の説明があります	パンフレットを用いて退院説明を行ないます

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わることもございます

D0_1009 2023年11月クリニカルパス委員会承認